

# 報恩講

ほうおんこう

# 親鸞聖人

しんらんしやうにん

謹啓 お彼岸が過ぎ、秋の気配が近づいて参りました。ご門徒の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。本年も宗祖親鸞聖人の「報恩講」を皆様と共に厳修させていただきます。どうぞ浄土真宗の教えとのご縁を深めて頂きたく、ここにご案内申し上げます。万障お繰り合わせの上、ご参集くださる事を切に念じております。 合掌

門信徒各位

2024年9月 住職・総代・世話人一同

日時 10月27日(日) 午後1時半開会、4時頃まで  
(受付は1時より。日程の詳細は裏面をご覧ください。)

法話 にかいどう 二階堂 ゆきとし 行壽 師 新宿区・専福寺住職

講題 「“浄土”ということ」

会場 しょうみょうじ 稱名寺 参加費 ころろざし

持参品 お念珠 服装は平服で結構です

**参加方法** 申込不要 ※今回も返信葉書は同封しておりません。

- マスクの着用は各自の判断にお任せいたします。
- 天候によっては寒さ対策もお願いいたします。発熱など体調が優れない場合は、参加をお控えください。

## 本年の報恩講について

記載の通り、本年の報恩講は27日一座のみとさせていただきます。

ただし、これまで短縮日程の報恩講が続いておりましたが、法要次第を以前に戻し、住職として初めて登高座作法による日中法要厳修を予定しています。

なお、これも5年ぶりに、近隣の川崎組内御寺院様に出仕をいただきます。ご参詣のほどよろしくお願ひ申し上げます。 住職

## 報恩講日程 10月27日(日)

|       |        |                 |
|-------|--------|-----------------|
| 午後1時  | 受付     |                 |
| 午後1時半 | 開会     | 真宗宗歌・住職挨拶       |
|       | 勤行次第説明 |                 |
|       | 日中法要   | お勤め(正信偈)        |
|       | 休憩     |                 |
| 午後3時  | ご法話    | 二階堂 行壽 師        |
| 午後4時頃 | 閉会     | 住職挨拶・門徒代表挨拶・恩徳讃 |
| 終了後   | 懇親会    | 庫裏にて            |

### ほうおんこう 報恩講

私たち真宗門徒が宗祖と仰ぐ親鸞聖人は、1262(弘長2)年11月28日に、そのご生涯を終えられました。宗祖が果たされたお仕事の大切さを讃え、文字どおり恩徳に感謝し報いるための行事が報恩講です。一人ひとりが自分の生活を振り返り、宗祖の教えの意義を確かめる、一年でもっとも大切な御仏事です。

聖人のご一生は、「ついに念仏の息たえましましおわりぬ」と、まさに念仏に貫かれたものでした。この現実社会を生きていく中で、私たちは本願念仏の教えがどれほどかけがえのないものであるのかを確かめる機縁として、私たちのいただいてきた報恩講を大切にお勤めしたいものです。 東本願寺発行「報恩講」より



※10月の「同朋の会」は休会です。

### 「お磨き奉仕」のお願い — 10月21日(月)午前9時より昼頃迄 —

作業しやすい服装で、お時間にお寺までお越し下さい。初めての方も是非ご協力ください。申込不要です。今回も、午前中のみとし、仏具磨きを中心に、出来る範囲で境内や庫裏の清掃、お昼頃までに終了します。

なお、お昼はお弁当を用意致しますが、持ち帰らず、庫裏で食べていただいても結構です。 (ご奉仕可能な時間だけでも結構です)